[PL] LEHMANN

2022年3月

スイス製ターンテーブル技術

ニュースレター

測定器メーカー向け一体型回転 軸

MQ測定技術: EA-511 Q-Line



pL LEHMANNのころがり軸受を備えたCNCターンテーブルは、 最高レベルの精度が特徴です

pL LEHMANNは、MQシリーズにより測定技術に最適化されたターンテーブルプログラムを開発しました。このスイスのメーカーは、「Q-Line」モデルと「M-Line」モデルを区別しています。「Q-Line」は、ほぼすべての測定器にいつでも後付けが可能で、必要に応じて自動化できますが、「M-Line」は、完全に統合された測定器メーカー(OEM)から入手できます。

このM-Lineターンテーブルは、特殊で高精度なボールベアリング技術を採用し、エアベアリングの回転軸の欠点である垂直軸位置の制限をなくし、偏心荷重にも容易に対応できるようになりました。また、エアベアリングのターンテーブルが苦手とする温度変化や湿度の影響もほぼ排除しています。



M-Line用超小型角度測定システム (ここでは単軸ターンテーブルEA-510) の全長はわずか30mmです。最小 \pm 2.5"の測位精度を実現します。

一方、pL M-Lineでは、バックラッシュのないプリロード型高精度ボールベアリングは、最高の再現性と極めて高い剛性を保証します。バックラッシュのないPGDギアには優れた同期特性があります。測定技術のために特別に開発されたサーマルブレーキは、熱によって引き起こされる偏移と不正確さを最小限に抑えます。さらにpL LEHMANNは、超小型で高精度の角度測定システムや、測定用のDCモータも提供しています。

このような環境で使用されるM-Lineターンテーブルは、I-SO 10 360に準拠した非常に高い精度 (FR、FT、FA) を、垂直軸と水平軸の位置と、中心荷重と偏心荷重との両方で実現します。そのため例えば、以前は特別な測定器で行っていた測定作業をCMMで実行することもできます。

すべてのターンテーブルもインダストリー4.0用に用意されています。これには、バージョンに応じて回転数、内圧、温度、湿度、衝撃および振動を検知、記録、出力するための広範なセンサーを備えたpL-iBoxが含まれています。生産性と可用性を向上させ、ダウンタイムとメンテナンスコストを削減し、迅速な障害の特定と予防的メンテナンスを可能にします。



超小型の角度測定システムにより、垂直軸の位置で180mmで十分です。

スイス品質のターンテーブル

1960年に純然な受託製造会社として設立されたpL LEH-MANNは、40年以上にわたってCNCターニングテーブルを 設計/製造してきました。スイスの町Bärau (エメンタール 地方) の親族経営会社は、イノベーションとスイスの品質 による追加のNC軸で顧客にチャンスを広げ、高い生産性を 特徴とする加工ソリューションに成功しました。弊社の歴 史上のハイライトの1つは、間違いなく2009年に開発され た500シリーズであり、これは、モジュラー設計により、最 も要求の厳しいタスクに対して非常に効率的で柔軟性があ ります。2014年に開発されたバックラッシュフリーのプリ ロードPGDトランスミッションにより、pL LEHMANNはさ らなるマイルストーンを設定しました。2017年にこのスイ ス企業は、インダストリー4.0とデジタル化された製品のた めにそのターンテーブルを準備する新しいpL-iBox世代を提 案しました。2019年には最大5,450 min-1までの回転数を用 いるターンテーブルシリーズのシリーズ900 DD (ダイレク トドライブ) の提案が続きました。さらに新しい製品とし て2019年にAM-LOCKシステムが発表され、これは前処理 および後処理を含む3Dプリント用の特別なゼロ点クランプ システムです。